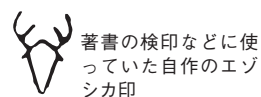


更科源藏(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

- 各巻の書名
- I アイヌ伝説集
 - II アイヌ民話集
 - III アイヌの神話
 - IV アイヌの民俗(上)
 - V アイヌの民俗(下)
 - VI アイヌ語地名解
 - VII アイヌの童戯
 - VIII コタンの童話
 - IX コタン詩集



更科源藏アイヌ関係著作集全10巻

更科の文学活動の底流には、アイヌ文化の精神世界の影響があります。晩年になった更科は、これまで書き表してきたアイヌ文化に関する著作集の編集に取りかかります。それは、更科が1933(昭和8)年に屈斜路コタンの学校の代用教員となつて、コタンに住むことになり、古老からアイヌ文化を教え導かれてから50年近くの歳月が経っていたのです。

更科は、道内各地のコタンを歩き、アイヌ伝承文化を記録しました。古老たちが語ることをすぐに聞き取りすることはなく、お互いに人間的に仲良くなつてから、相手が語り始めたことを記録しました。

更科がまだ若かったころ、屈斜路コタンの古老が言った「わたしたちには文字がありませんから：どうか間違ひなく伝えてください」という言葉と、文字を必要としなかつた文化のことを考え、一言一言を正確にノートに記していきます。

更科は、こうして1冊ずつ著書にしていきます。そして「各地を探ね集めた資料を、少しばかり分析して、その理解(アイヌ文化―筆者注)の参考にまとめてみた報告書で

ある」と言います。

この「アイヌ関係著作集」は、以前に出版したアイヌ文化にかかわる著書の字句を訂正したもの。または、底本にして、その後新たに聞き集めた事柄を補ったもの。写真家と共著になった著書から写真を省いたもの。絶版となった著書に未発表の資料を追加したものなどです。新聞や雑誌などに貴重な証言が記載されたものもありますが、この著作集には含まれていません。

また「コタン詩集」には、処女詩集「種薯」第2詩集「凍原の歌」など5つの詩集からコタンにかかわる詩を選び、これに、いつか発表しようとしていたコタンの人々を詠った詩を収めています。

1981(昭和56)年2月に「I アイヌ伝説集」が出版され、1984(昭和59)年4月の「X コタン詩集」で完結しました。更科は「これらを伝えてくれた人々のほとんどは地下に消え去って、再び問い返すこともできない」と言っています。わたしたちは、更科に語ってくれたコタンの古老たち、その記録を残してくれた更科に、ただ感謝するしかありません。

好評発売中!



てしかがえこまち推進協議会(会長 徳永町長)は10月24日に開催された例月合同専門部会で、本年度新たな事業として、現在販売されているエコリストバンドを利用した(仮)地域カード事業や電気自動車のための充電設備整備の検討を始めることとしました。

この地域カード事業は、元々は全国の協賛店での買い物の際にカードを提示すると金額に応じたポイントが付与され、貯まったポイントでお買い物も可能なポイントカードで、観光客はもちろん地域内の住民の皆さんも使用できるもの。これを、エコリストバンドに埋

地域カード事業など

てしかがえこまち推進協議会 勉強会を予定しています。

め込んだICチップにポイントを貯められるよう取り組むものです。また、今後増加すると見られている電気自動車にいち早く対応できるようにと、電気自動車の充電設備整備の検討についても同時に進めることとしました。

情報部会では、てしかがえこまちの各個店情報を事業者が自由に入れ替えることができるようにシステムの改修を実施しました。12月には事業者対象のITセミナーなどを実施して、同システムの使用法や情報化時代に対応した情報発信の在り方などについての

本年度事業に新たな事業を追加

てしかが観光塾公開講座 地域経済戦略公開講座

2010年
11月13日(土)

13:30 開演 16:40 終了
会場/川湯ふるさと館(川湯温泉2-3-40)
☎483-2060
※入場無料。どなたでも入場できます。



【第1講】13:00~

テーマ **景気の波ではなく人口の波が動かす日本経済**
~観光関係者はどう対処していくのか~
あの池上彰氏も絶賛!
大手書店人気本ランキング上位
『デフレの正体―経済は人口の波―で動く』を引っさげ、自身3度目となる本町での講演

【第2講】スペシャル・トークセッション 15:10~

テーマ **観光まちづくりと地域戦略のあり方**

てしかがえこまち推進協議会アドバイザーの山田さんが、本年度から新たに隣町の中標津町のアドバイザーとなった縁で、空港を持つ同町との広域での連携など、新たな地域戦略が可能となりました。地方空港利用促進も含めた地域戦略について、小林中標津町長にもお越しいただき議論します。



- ファシリテーター **山田桂一郎**さん
(JTIC SWISS代表、てしかがえこまち推進協議会アドバイザー)
- パネリスト
小林 実さん(中標津町長)
徳永 哲雄
(てしかがえこまち推進協議会会長、弟子屈町長)
藻谷 浩介さん
(株)日本政策投資銀行地域振興G参事役(地域支援担当)

問い合わせ先/てしかがえこまち推進協議会
事務局(役場観光商工課) ☎482-2940(課直通) ☎482-5669 E-mail:ecomachi@masyuko.or.jp